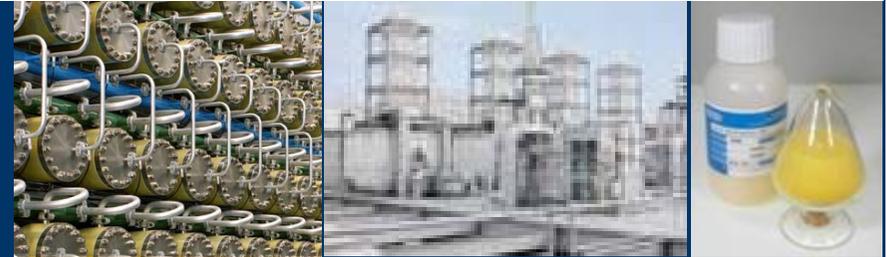




2011.5.10

## 2010年度決算説明会資料



東洋紡  
取締役社長  
坂元龍三

# 決算のポイント

## 10年度実績

- 営業利益から当期利益、各利益項目で概ね倍増
  - 液晶・電子部品、自動車関連などの数量回復
  - 新製品投入などポートフォリオ改革で収益力アップ
  - 原燃料急騰、震災影響もあり、直近見通しを下回る

## 11年度予想

- 新製品投入など拡大計画を実行中も、原燃料高騰、震災の影響を勘案し、前年度並みの200億円以上の営業利益を予想

(億円)

	09年度		3,188	10年度		3,406	11年度 3,450
	上期	下期		上期	下期		
売上高	1,549	1,639	3,188	1,697	1,708	3,406	3,450
営業利益	30	85	115	109	99	209	200

# 目次

I	2010年度決算概況
II	2011年度予想
III	中期計画進捗
IV	訴訟
	補足資料

## I . 2010年度決算概況

## (1) 決算概要

	09年度	10年度			増 減		直近見通し (2011/2)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,188	1,697	1,708	3,406	+218	+6.8%	3,400
営業利益	115	109	99	209	+94	+82.1%	220
(営業利益率)	3.6%	6.5%	5.8%	6.1%	—	—	6.5%
経常利益	74	89	81	170	+96	+129.0%	190
当期純利益	21	-19	61	42	+21	+98.4%	50
EPS(円)	2.88	—	—	5.49	—	—	
減価償却費	204	92	99	191	-13	-6.4%	
設備投資	152	54	85	139	-12	-8.1%	
営業CF	290	179	158	337	+47	+16.2%	
為替レート(円/US\$)	93	89	82	85			84
国産ナフサ価格(千円/KL)	41	46	49	48			46

## (2) 財務指標

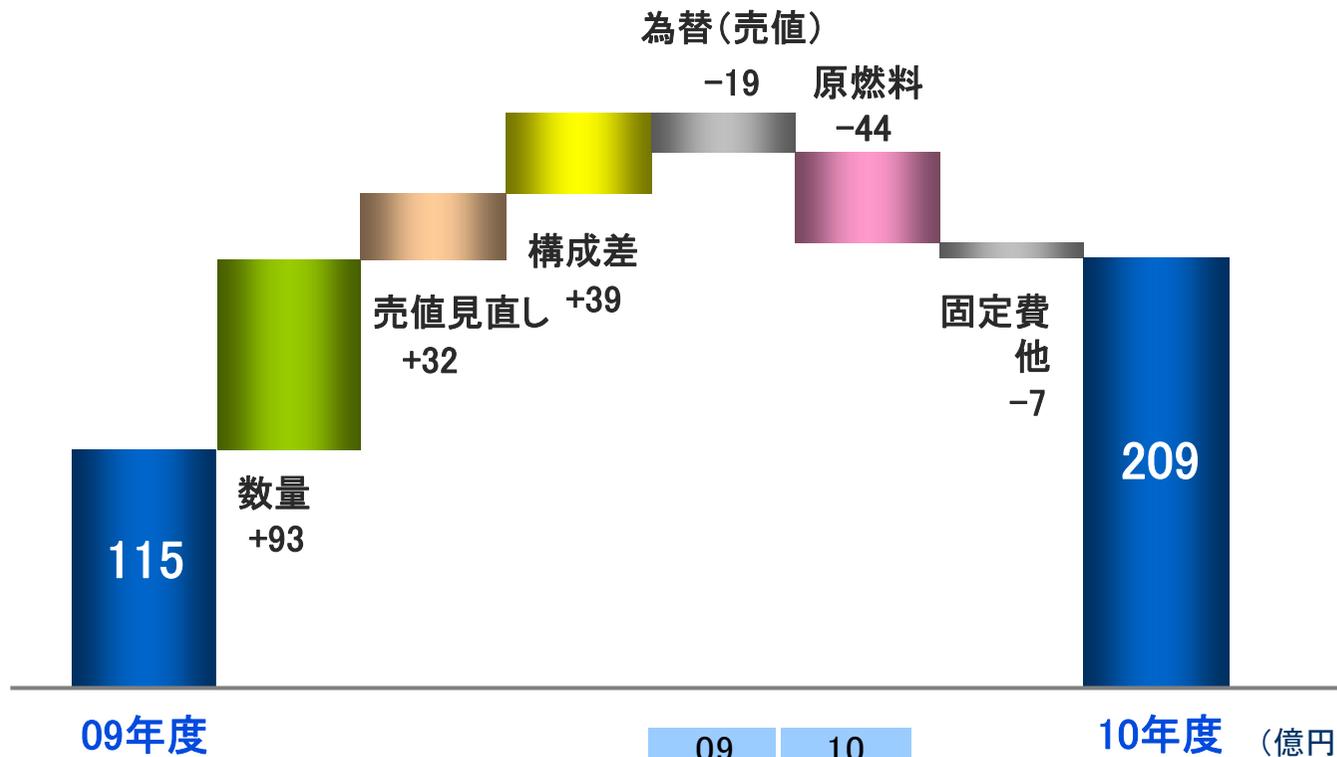
## 資産効率重視の経営を継続

(億円)

	09/3末	10/3末	11/3末
総資産	4,438	4,384	4,435
うち現預金	100	101	220
うち棚卸資産	758	625	660
純資産	1,340	1,311	1,498
自己資本	983	1,071	1,258
(自己資本比率)	22.1%	24.4%	28.4%
少数株主持分	357	240	240
有利子負債	1,789	1,710	1,518
D/E レシオ	1.82	1.60	1.21
(営業利益ROA)	2.5%	2.6%	4.7%

(3) 営業利益増減要因分析

【09年度→10年度】



	09	10
円レート (¥/\$)	93	85
国産ナフサ (千円/kl)	41	48

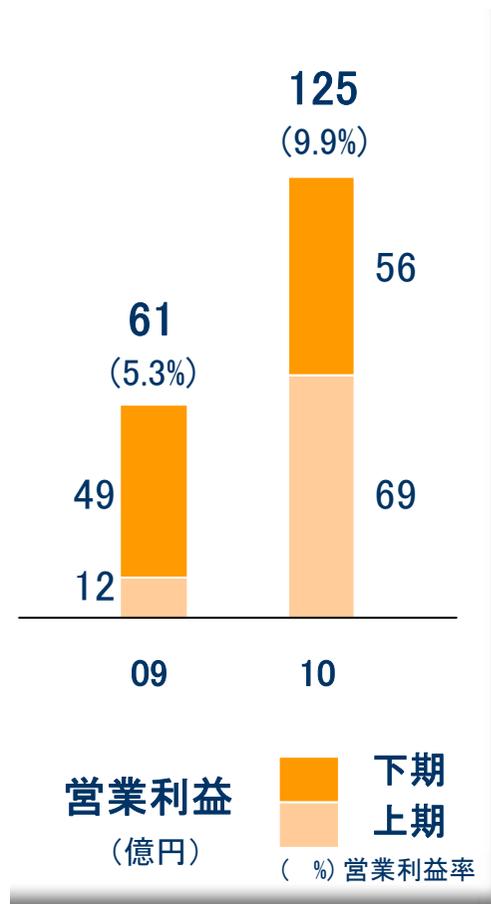
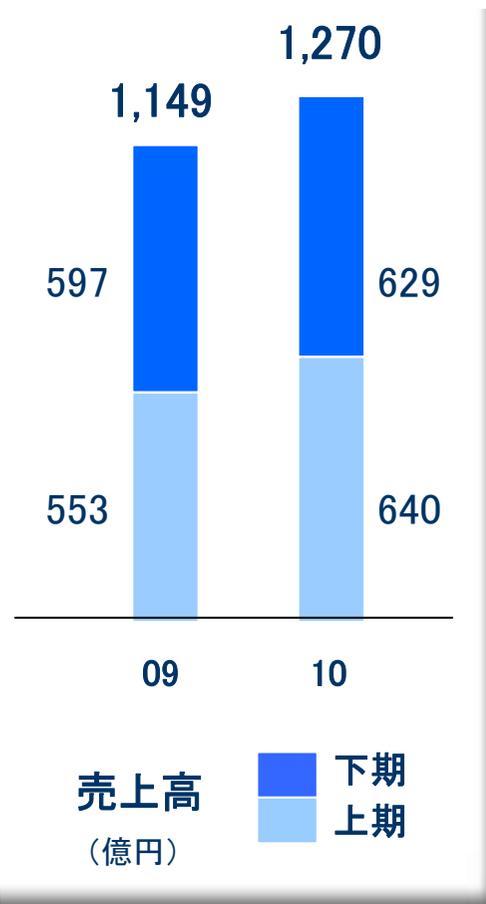
## (4) セグメント別

(億円)

	売上高				営業利益				直近見通し (2011/2)
	09年度	10年度			09年度	10年度			
		上期	下期			上期	下期		
フィルム・機能樹脂	1,149	640	629	1,270	61	69	56	125	130
産業マテリアル	632	345	369	715	23	24	25	49	50
ライフサイエンス	324	149	165	314	40	17	20	37	40
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,105	1,135	1,163	2,298	125	110	102	212	220
					5.9%	9.7%	8.7%	9.2%	
衣料繊維	884	443	426	868	4	3	4	6	6
不動産・その他	199	120	120	239	18	12	11	23	24
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-17	-32	-30
合計	3,188	1,697	1,708	3,406	115	109	99	209	220

(5)セグメント別 ① フィルム・機能樹脂

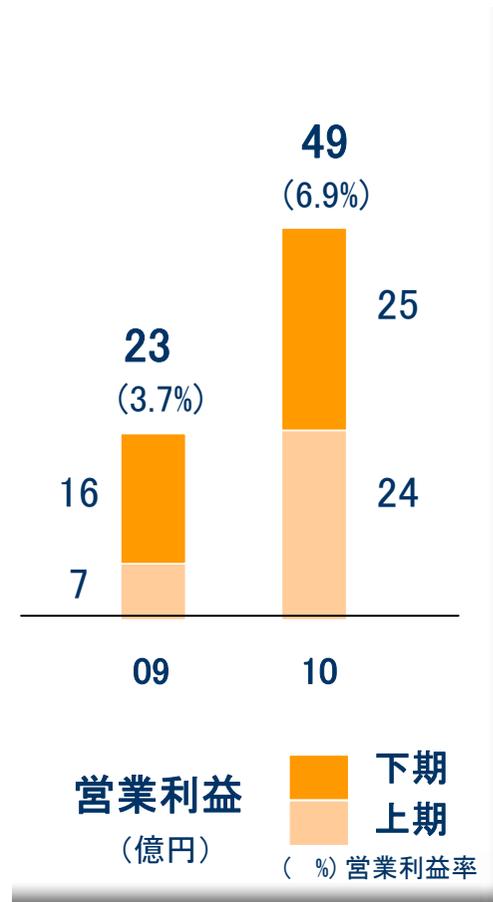
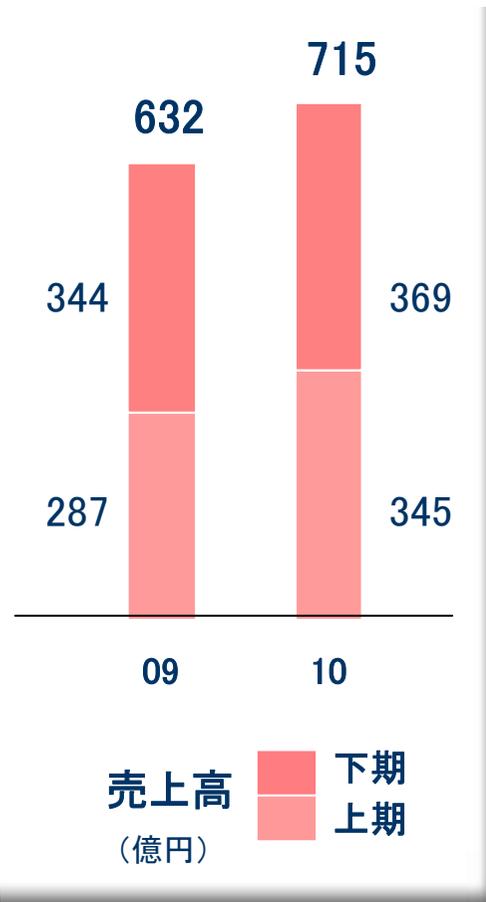
製品ポートフォリオ改革と数量効果で大幅増益



- **工業用フィルム**  
タッチパネル、セラコン用フィルム好調  
プロダクトミックス改善効果
- **包装用フィルム**  
新タイプ投入でシュリンクフィルムの  
数量拡大
- **機能樹脂**  
バイロンは海外向け電子部品用好調  
エンプラは高融点PAの新設備稼働

② 産業マテリアル

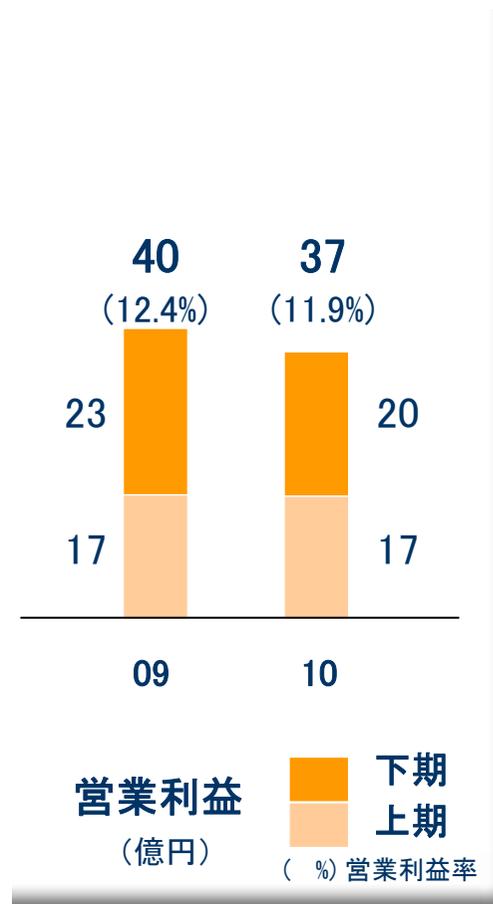
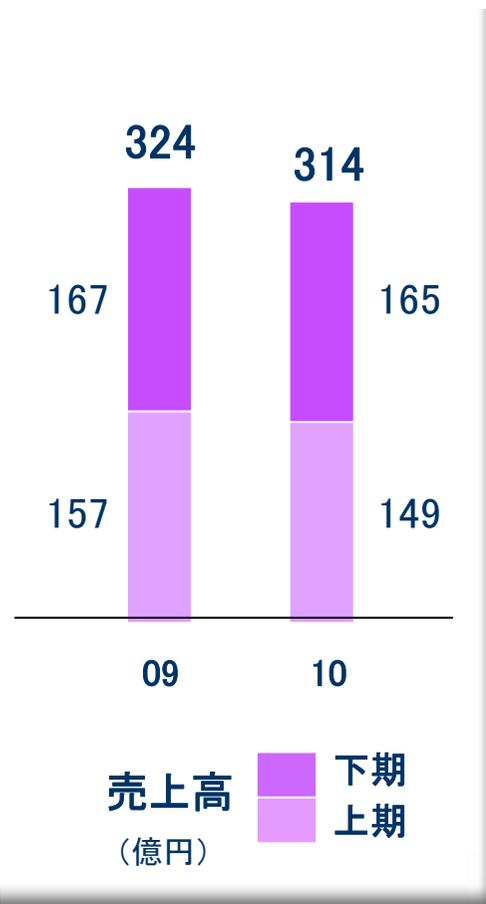
機能フィルター、VOC処理装置などの環境関連堅調  
エアバッグ、スパンボンドなど自動車関連も数量回復



- **機能フィルター**  
事務機器、自動車用フィルター堅調  
\* VOC<sup>\*</sup>処理装置も国内外で需要拡大  
\* 揮発性有機溶剤
- **スーパー繊維「ダイニーマ」**  
新機台稼動により数量拡大  
(日本ダイニーマ)
- **スパンボンド**  
生産体制効率化と数量回復により  
収益改善

③ ライフサイエンス

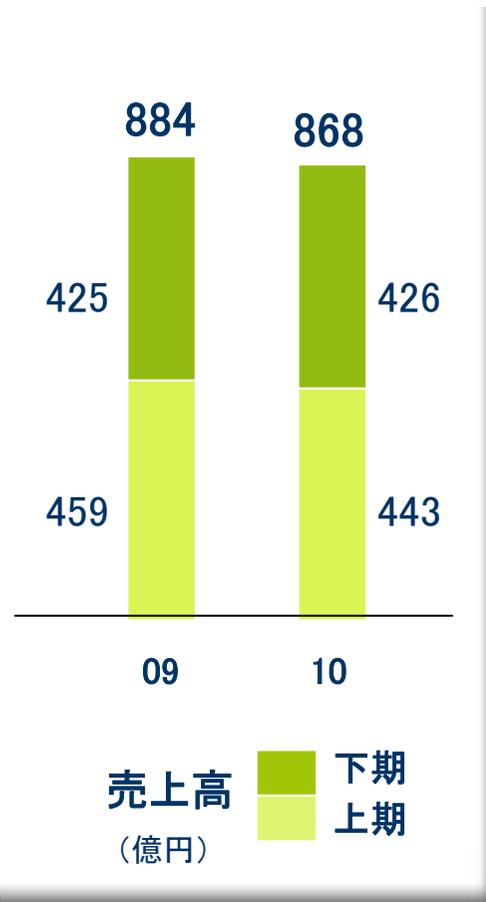
診断薬用酵素、機能膜、医薬製造受託など需要は堅調も、  
為替影響などもあり減益



- 診断薬用酵素  
血糖モニター用酵素が売上拡大
- 医用膜  
薬価改定影響あるも、海外向け出荷堅調
- 医薬品製造受託  
受託案件は順調に拡大
- 合成薬中間体  
数量減で苦戦

④ 衣料繊維

機能衣料分野でのスポーツアパレルとの取り組み拡大  
百貨店向けほか一部消費停滞の影響あり



● 東洋紡STC (繊維)

スポーツ、インナーなどの  
機能衣料堅調

● アクリル繊維

国内外の需要堅調も  
原料高と為替で苦戦

● 衣料繊維使用資本

('09) 831億円→('10) 759億円

## Ⅱ. 2011年度予想

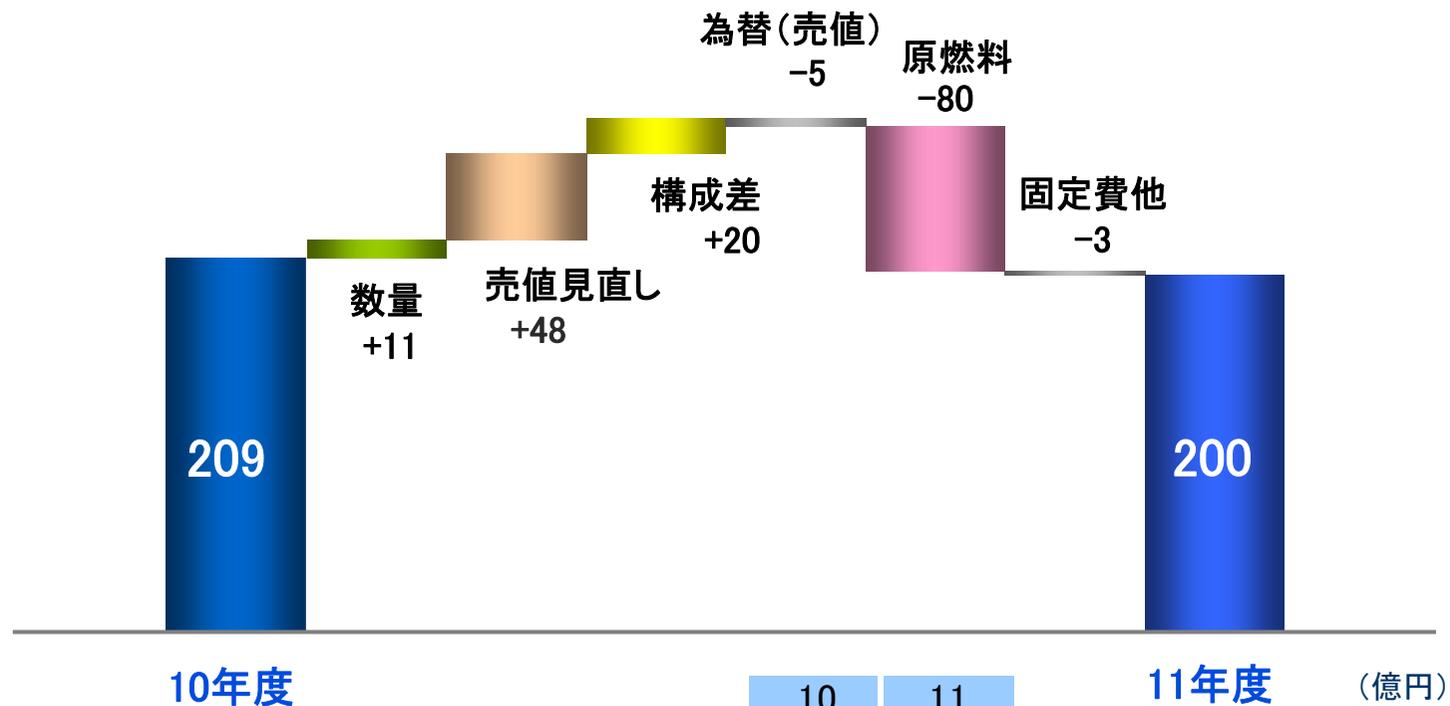
(1) 業績予想

(億円)

	10年度実績	11年度予想			増減	
		上	下		金額	%
売上高	3,406	1,600	1,850	3,450	+44	+1.3%
営業利益	209	80	120	200	-9	-4.3%
(営業利益率)	6.1%	5.0%	6.5%	5.8%	-	-
経常利益	170	60	100	160	-10	-6.1%
当期純利益	42	23	47	70	+28	+68.5%
EPS(円)	5.49	-	-	7.89	-	-
減価償却費	191	90	90	180	-11	-
設備投資	139	90	110	200	+61	-
為替レート(円/US\$)	85	84	84	84		
国産ナフサ価格(千円/KL)	48	62	62	62		

(2) 営業利益増減要因分析 (予想)

【10年度→11年度】



	10	11
円レート (¥/\$)	85	84
国産ナフサ (千円/kl)	48	62

(3) セグメント別内訳(予想)

(億円)

	売上高		営業利益	
	10年度	11年度	10年度	11年度
フィルム・機能樹脂	1,270	1,350	125	120
産業マテリアル	715	700	49	40
ライフサイエンス	314	350	37	42
スペシャルティ計 * (営業利益率)	2,298	2,400	212 9.2%	202 8.4%
衣料繊維	868	820	6	10
不動産・その他	239	230	23	23
消去・全社	-	-	-32	-35
合計	3,406	3,450	209	200

### Ⅲ. 中期計画進捗

(1) めざす姿と経営方針

■ めざす姿：「環境、ライフサイエンス、高機能で、新たな価値を提供するカテゴリートップ企業」

- 成長性：                    スペシャルティ事業 約8%/年 成長
- 収益性・効率：        ROA(営業利益/総資産) 約8%をめざす
- 安定性：                    D/Eレシオ1.0倍をめざす

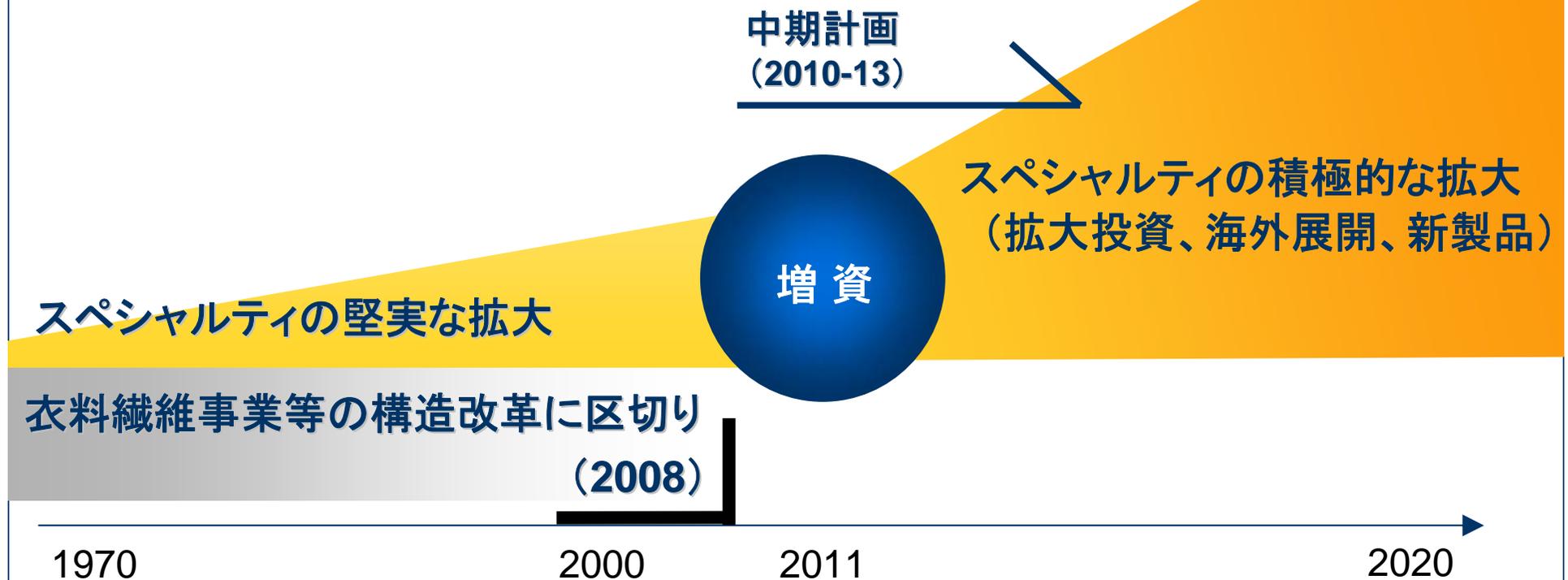
■ 経営方針：「不断のポートフォリオ改革」

	10年度		11年度	(億円) 13年度 計画
	当初計画	実績	予想	
売上高	3,400	3,406	3,450	4,000
うちスペシャルティ (構成比)	2,300 68%	2,298 67%	2,400 70%	3,000 75%
営業利益 (率)	200 5.9%	209 6.1%	200 5.8%	300 7.5%



## (2) 増資の背景と狙い

- 「二正面作戦」から「新たな成長ステージ」へ
- 成長拡大投資のための資金確保



(3) 資金使途

設備投資：150 億円

■ フィルム・機能樹脂：110 億円

✓ 工業用フィルム

FPD、タッチパネル用

太陽電池バックシート用

✓ 機能樹脂、ファインポリマー

■ 産業マテリアル：10 億円

✓ エアバッグ用基布

■ ライフサイエンス：30 億円

✓ バイオ、医薬受託、機能膜

(4) アクションプランと進捗状況①

■ アクションプラン

■ 進捗状況

1) 能力増強  
(M&A、アライアンス含む)

- ・工業用フィルム新ライン増設（‘13 / 上稼動）
- ・フィルム機台改造（‘10/下実施・稼動中）
- ・塩素化PP新ライン増設（‘11/下稼動）
- ・セラコン用コーター設備増設（‘11/下稼動）
- ・バイオマス高融点PA新設（‘11/3稼動）

2) 海外展開加速

- ・エアバッグ中国製造販売会社（‘11/5 設立予定）
- ・アクア膜サウジアラビアJV（‘11/下稼働）
- ・機能樹脂の海外生産拠点構築
- ・VOC処理装置アジア展開

## (4) アクションプランと進捗状況②

### ■ アクションプラン

#### 3) 製品ポートフォリオ改革 (新製品開発)

#### 4) 資産効率の改善

### ■ 進捗状況

#### 【液晶汎用化への対応】

- ・タッチパネル用低干渉フィルム
- ・太陽電池バックシート用フィルム
- ・電子部品用フィルム

#### 【新製品立上げ】

- ・高融点ポリアミド(LEDリフレクター用途ほか)
- ・新タイプシュリンクフィルム
- ・エアバッグナイロン樹脂コート布
- ・VOC処理装置
- ・診断システム(免疫診断、遺伝子診断他)

- ・スペシャルティROA: 5.6%('09) → 9.4%('10)
- ・衣料繊維の使用総資本圧縮  
831億円('10/3) → 759億円('11/3)

## IV. 訴訟

## 訴訟関連

### <概要>

- ① 2003年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故は1件のみ)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、  
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起
- ⑤ 購入者からの集団訴訟は 原告団との和解成立(和解金等(約44億円)05上特損処理)  
事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)も、和解により解決
- ⑥ ドイツ州政府からの訴訟は、一審で管轄不存在が認められ、控訴審で和解により解決
- ⑦ セカンドチャンス社との訴訟は、11年2月に和解合意(破産裁判所での最終承認手続き中)

### <訴訟状況>

(11.5.9現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
			アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06~07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続	和解合意 (11年2月)	証拠開示 手続	証拠開示 手続	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件

補足資料

# スペシャルティ事業と展開市場

市場 セグメント	自動車	電子・ 情報表示	環境	ライフ サイエンス	生活・ 安全
フィルム・ 機能樹脂		液晶・光学用 フィルム	太陽電池用PETフィルム		包装用フィルム
		次世代電子材料 機能樹脂	燃料電池膜 高融点ポリアミド樹脂 PET新触媒		
	産業 マテリアル	A/B用基布 機能フィルター	VOC処理装置 機能フィルター		「ダイニーマ®」 「ブレスエアー®」
ライフ サイエンス			水処理膜	医用膜 診断システム 診断薬用酵素 医薬製造受託 医薬中間体	 化粧品原料
10年度スペシャルティ売上高(億円)	500	360	240	300	900

## 本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社

All Rights Reserved

